

昭和二十五年一月二十日

陳情書

全國家庭科教育協會福井支部

陳情書

昭和二十五年度より小學校の課程に於てはコアカリク
ラムを採用いたします結果家庭科は廃止され他
教科の中に包含される様になるとの噂を前々より伺
つて居りました。福井縣の状況を考へると非常に心
配を致して居ります。尤もかえか本當に居ります。非
常にいよくこの事か教育基準法として国会に提出され
るとの報に接しまして驚愕の極に達して居ります。
涕承知の通り北陸一帯に非常な封建的な色彩
が濃うございます。尤も福井縣は特に其度が強
うございます。其上有名な貧乏縣でありまして一
部には多少生徒に余裕を有する者もあいま
す。尤も農村山村漁村等の大部分は其の日の生

活にも事欠く有様でございます。従つて他の地方の方々の様に衣服の仕立を専らに依頼したり洗濯物を洗濯屋に出したりする様な余裕は全然もつて居りません。子供が病氣になりましても直に医師に来診を乞ふ事すら差控えて居ります。現状でございます。従つて高等女子校への進學者も極めて少教でありまして本年の鈴相心は新中卒業の女生徒の僅かに二三に過かませぬ。現在進學者中の生徒も日々に退學者を申出ます者の数を増して居ります。本年は只今高等女子校に籍を置いて居ります女生徒の中で家庭科を選擇して居りますものは福井市の中心部の生徒が大割合を占めて居ります。藤島高等女子校では九九のにも及び他の地方の學校では約

一〇〇のにも及びます。當等は地方民が如何に家庭科の重要性を認めて居るかを如實に物語つて居るものと考へらるべきです。現在の新制中進學校に對しましては家庭科の時間が少くて卒業して來てに這入つても役に立ちないとの声をしばしば耳に致して居ります。新中を卒業して來た女子が家庭の人となりとして何とか衣服生活其他を處理しませぬ為には是非とも小進學校から家庭科を重視して居る指導をしていかねばなりません。でなければ今後義務教育の進め方を卒業して來た女子は自分の衣服すら満足に縫えず家庭の處理等は思ひも及ばぬものとなり益々家庭を貧困に導き文化生活の面でも現在よりも更に低くものとなり

引いては家庭生計の上より婦人を解放するとい
ろか、いよ／＼非民主的に婦人の地位を引下げ
事になり、その結果は由々しきものかあり
あり、之等事情を汲取り下さいまして
小学校にも是非／＼家庭科を添置き下さ
いませう、御願ひ申上げます。